

工学部機械工学科

学位（教育）プログラム名：機械工学

❖ 養成する人材像・教育課程の特色

機械工学科は、幅広い教養と高度な専門知識を備え、ものづくり(機械の創造)を通して実践的な応用力と豊かな創造力を発揮して、人類の幸福と社会の福祉に貢献できる技術者を養成することを教育研究の理念としています。そしてこの理念に基づき、確実な観察力を備え、幅広い知識により問題を的確に分析し、解決に向かって果敢に行動できる技術者を育てることを人材育成の目的としています。そのために一年次には、専門知識を学ぶために必要な基礎科目、さらに機械工学のセンスを養うための専門科目を学びます。専門科目は『材料力学』『流体力学』『熱工学』『機械設計・工作』『機械力学・制御』の主要五分野に分類され、学年が進むにつれて基礎から応用へと有機的・体系的に学んでいきます。

❖ 求める人材像（求める能力）

● 知識・理解

高等学校の教育内容を幅広く学び、十分な基礎学力を有している人

● 技能

学習や課外活動から得た経験を踏まえて、自らの視点で物事を順序立てて説明することができる人

● 態度・志向性

(1) 機械工学に関する高度な専門知識と倫理観を身に付けた機械技術者になることへの夢を持ち、専門知識を社会のために積極的に活用したいと考えている人

(2) 世の中にないものを作り出すことに興味がある人

● その他能力・資質

自己研鑽により、英語の資格を取得した人やスポーツ活動・競技会等で顕著な成績をおさめた人

❖ 入学者選抜のねらい

機械工学科は、学びや諸活動の中で挑戦し続ける意欲あふれる人材や、多様な背景を持ち、さまざまな能力を有する人材を国内外から広く受け入れます。

そのために、これまでに培われた基礎学力、活動や経験を通じて身に付けた能力、資質、学ぶ意欲などを、多面的・総合的に評価する多様な入学試験を実施します。